

第21回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成21年2月

応募者名：神戸市都市計画総局

事業の名称：都市計画道路松風線・松風北線

(交通結節点改善事業)

実施都市名：神戸市

事業目的

開かずの踏切として緊急対策踏切に指定されていた山ヶ坪一踏切を撤去し、都市計画道路松風線(横断歩道橋)を設置するとともに、JR山陽本線鷹取駅～須磨駅間に新設された須磨海浜公園駅において、交通機関間の連携強化や移動の連続性を確保するため、都市計画道路松風北線(駅前広場及び南北道路)を整備し、平成 20年3月に供用開始した。

事業概要

事業名:交通結節点改善事業

路線名:都市計画道路松風線及び松風北線

事業箇所:神戸市須磨区松風町5丁目

事業延長:松風線:57m、松風北線:45m

幅員:松風線:4～6m、松風北線:16m

総事業費:約11億円(松風線:約7億、松風北線:約4億)

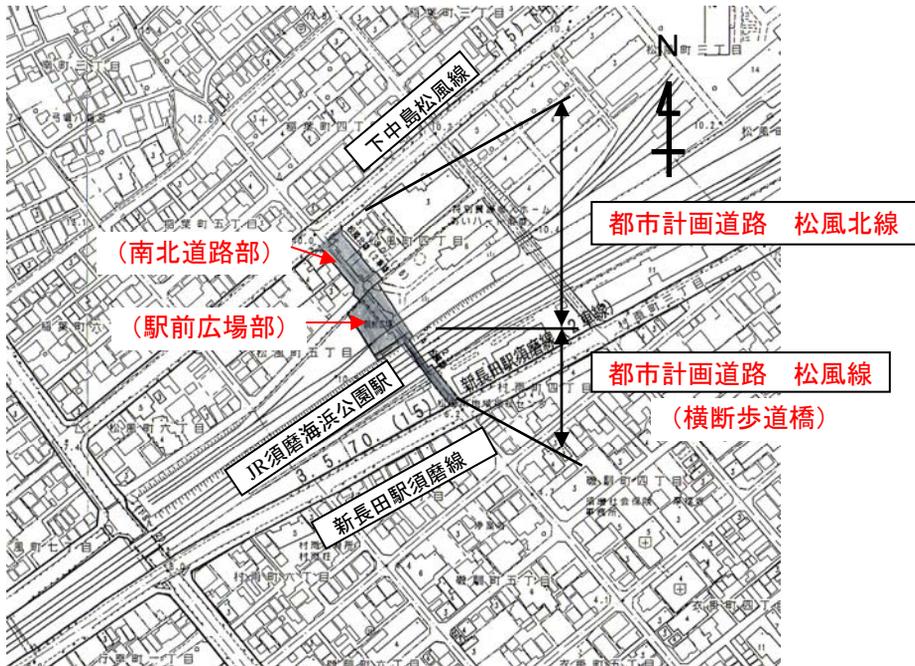
事業期間:平成16年3月～平成20年3月

本事業は、駅の南北を結ぶ横断歩道橋(延長:約57m、幅員:4～6m)及び新駅の北側に駅前広場(面積約1,000㎡)、さらに、これらと既存道路とを結ぶ南北道路(延長約45m、幅員:16m)を整備したものである。

事業位置図



全体図(平面図)



松風線、松風北線の整備効果アピール資料

「整備効果」

（１）安全で安心な歩行者動線の確保

従来は延長が長く（約26m）、幅員も狭い（約2m）踏切であったが、これを撤去し、エレベーターを備えた横断歩道橋（幅員4～6m）を新たに整備することで、安全で安心して利用できる、バリアフリー化された歩行者動線が確保されるようになった。

（２）移動の円滑化と回遊性の向上

従来の踏切は開かずの踏切に指定されており、踏切遮断時間が長いために歩行者の円滑な移動の支障となっていたが、これを撤去し、エレベーターを備えた横断歩道橋を新たに整備することで、移動の円滑化と回遊性の向上が図られている。

（３）交通結節点機能の確保

鉄道駅部において、横断歩道橋、駅前広場及びこれらと既存道路とを結ぶ南北道路を整備することにより、交通機関間の連携及び移動の連続性の強化が図られ、円滑な乗り換え、乗り継ぎを可能にしている。

（整備前）



（整備後）



「その他の事業効果」

○外観のデザインを景観に配慮して、海をイメージした波、帆、貝をモチーフにした屋根の形状とした。

なお、階段部の外壁に照明を配置し、夜間の景観にも配慮している。

○駅前広場内の植栽（黒松）により、横断歩道橋のデザインと合わせて、景観をより良好にしている。



事業前写真

平成15年7月撮影



事業後写真

<都市計画道路 松風線>

平成20年7月撮影



<都市計画道路 松風北線>

(駅前広場部)



(南北道路部)

